



一般社団法人  
うるわしの桜井をつくる会  
〒633-0091 奈良県桜井市  
桜井1259エルトさくら内  
TEL&FAX:0744-47-3981  
URL: <http://lets.some.jp>  
E-mail: [lets@some.jp](mailto:lets@some.jp)

平成24年4月

# うるわし通信

## 大福・吉備のまちづくり

4月1日から大福にある「桜井西ふれあいセンター」が市の直営から、指定管理者制度でNPO法人桜井人権ネットにより運営されることとなります。わたしたちは、これを契機とし、基軸とする大福・吉備の新しいまちづくりの展開に大いに期待するものがあります。

公共の施設を民間が運営するという事は、それにより建物本来の使用目的にそったサービスが期待できるということです。こうした取り組みはすでに市内各所で行われています。意欲のある民間の力を借りての活

性化はとても斬新なイメージをわたしたちに与えます。

しかし、わたしたちは一方で不安に思うことがあります。それは、行政側にそれに伴う意欲があるのか？ということです。行政は単に経済的効率のみを追及しているのではないのでしょうか。受託者を行政の末端組織化しようとし、条例や規則のワクの中に受託者を閉じこめようとする思考は民間のやる気をなくすことに直結します。これでは本来の目的にそったサービスは望めません。むしろ経済的

効率のための人員削減により、サービスの低下が懸念され、これを補おうとする民間に過度の労力提供を強いることとなります。

わたしたちは行政に協働という理念に基いた内面的意欲を求めたいのです。これを人間的思考と言いかえても良いと思います。これが欠けると、受託者との間柄は条例・規則を必要以上に強要するものとなります。行政は所詮、タテ型の垂直思考から抜け出せないのか。ここで、わたしたちは「桜井西ふれあいセンター」がNPO法人桜井人権ネットにより運営されることを思い起こして期待するのです。

人間らしい生き方の追及において、この地域は先進的に取り組んできた経験と実績があります。行政のタテ型垂直思考でなく、ヨコ型の水平思考を耕してきた人権のネットワークに大いに期待するゆえんです。



ハンゲル教室

## 座談会 「人にやさしいまちづくりを」

出席者 伊藤 満 NPO法人桜井人権ネットワーク理事・桜井西ふれあいセンター担当  
松塚 信夫 桜井福祉のまちづくり委員会事務局長  
辰己 美智子 社会福祉法人メイクルタウン「かさがみ店」店長  
浅川 肇 うるわし通信編集者 (敬称略)

司会(浅川) 大福・吉備地区でまちづくり運動が熱く進められています。「うるわしの桜井をつくる会」は、このまちづくり運動に注目していきまして、会員内外にこの運動を紹介したいと思います。

伊藤 4月から「桜井西ふれあいセンター」を運営することになりましたが、わたしたちとしては、地域内の「桜井西老人憩いの家」「社会福祉法人メイクルタウン」などと連携しながら「ふれあいセンター」を地域のまちづくりを促進する拠点として考えています。とりえず貸館業務と文化講座などの教室は継続します。新たなものとして「まちづくり講座」を開設して、市内の市民運動をされている方々と交流し、学びたい。それと「歴史講座」を開き大福・吉備の歴史を学び、地元への誇りや愛情を育てたい。目標としては地域のアイデンティティとして「人にやさしいまちづくり」を目指したいのです。

司会 とにかく、建物を造ってそれで良しとする傾向がありますが、建物を生かすも殺すも、住民といかに関わるか、ということが大切ですね。ところで「メイクルタウン」や「かさがみ店」の事業とは、どのようなものですか？

辰己 この大きな900戸ほどのムラに食料品店がなくなりました。高齢者にとっては食事にも不便になりましたので、惣菜の店や生活雑貨の店が必要になりました。そこで解放同盟がそれに代わるものとして「かさがみ」という店と立ち上げ、その後「メイクルタウン」という障害者施設が引き継いで経営し、いまでは地元に着した店となっています。

司会 高齢者には、ほかにどんな形で支えていますか？

松塚 「桜井西老人憩いの家」という施設があります。ここでは高齢者が毎日楽しく集まり、世間話など気楽な交流をしています。特にカラオケが人気です。地元の5老人会が責任を持ってお世話をしています。最近では大福校区全域の13老人会の交流も活発に行われており、カラオケを楽しんでいます。



ヨガ教室

司会 さきほどの障害者施設について、もう少しくわしいお話をうかがいたいのですが・・・

伊藤 障害者が普通に生活を送れる地域にしたいという目標を掲げ「メイクルタウン」と命名し、18年前に立ち上げたのです。当初は小さな小屋みたいなものでしたが、国・県・市の助成もあり、地域の皆さんや、人権に取り組むいろいろな人たちの協力によって浄財が集まり、現在の立派な建物が造られました。なお、メイクルタウンのモットーは「共に生きる」です。

司会 今後のまちづくりの展望や夢を語って下さい。

辰己 地域の施設や団体が連携して、総合力でこのムラの活性を計りたいのです。会議や交流も、これまで以上に深めたいと思います。子育て支援もしたいのです。このほか駅前で、フリーマーケット「かさがみ大市」などできないものかなあと考えています。

伊藤 大福資料館も再開して、老人会も関わる喫茶店もしてみたいのです。

松塚 わたしたちの目標としては「ぬくもりのある」まちづくりをしたいのです。

司会 それは外から見れば「人にやさしいまち」ということになりますね。皆さんのご努力と今後のまちづくりに大いに期待してしまよ。  
「終」



かさがみ店

## 桜井の神話Ⅱ

前号で長脛彦(ナガスネヒコ)を紹介しましたが、彼を語るには、もう一人の神話的人物、饒速日(ニギハヤヒ)について述べなければなりません。饒速日はその名の由来が示すように、太陽神アマテラスの子孫です。つまり神武とは同族だったのです。

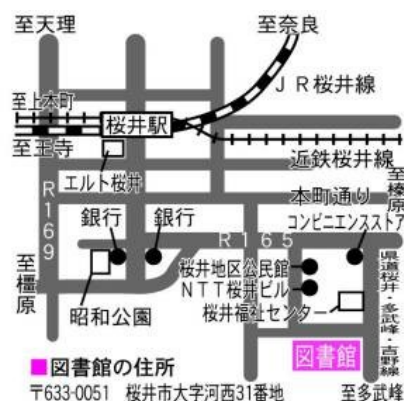
饒速日は天磐舟(アメノイワフネ)に乗り大空を飛行して日本を発見し、降下して来たので、この国を虚空見日本国(ソラミツヤマトノクニ)というのだ。と日本書紀神武の項に記されています。

つまり饒速日は一足さきに大和へ入り、この地を統治していたのです。そして、長脛彦の妹を妻としました。

長脛彦は単に饒速日に従属した部将ではなく、饒速日の一族として、国を統治する一端を担っていたようです。

## うるわしの桜井をつくる会定時総会

- 日時 平成24年6月24日(日)午後1時  
場所 桜井市立図書館第一研修室  
議題 1. 平成23年度事業報告  
2. 平成23年度決算報告  
3. 役員改選(人事)  
4. 平成24年度事業計画  
5. 平成24年度予算案  
6. その他



## うるわしの桜井をつくる会公開シンポジウム

- 日時 平成24年6月24日(日)午後1時40分  
場所 桜井市立図書館第一研修室  
参加無料  
①講演 「万葉恋歌」  
講師 井上さやか (敬称略)  
県立万葉文化館古代学研究所主任研究員

- ②対談 「古事記を語る」  
多 忠記 太安麻呂第51代多神社宮司  
堀井 良殷 うるわしの桜井をつくる会会長  
③座談会  
「記紀・万葉プロジェクト～桜井の取り組み」  
出席者検討中

## 事務局だより

- 
- 4月の常任理事会は4月16日(月)午後7時よりエルト桜井第6研修室にて開きます。

**会員募集中** どなたでも(市外の方も)入会できます。くわしくは事務局まで。  
**年会費 個人¥2,000 法人¥20,000**

**編集後記** 大福で座談会を開いて頂きました。皆さん御多忙のところを有難うございました。地名「大福」はとても素晴らしい名だと思います。大福長者・大福まんじゅう・大福芋・大福帳など庶民の願いをこめた有り難い名です。地名は宝です。なんとかこの地名を生かせないものでしょうか。(あさ)

うるわし通信編集責任者  
〒633-0091  
桜井市桜井142-5-203  
浅川 肇  
TEL090-1961-6345